とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	2月9日(月)
クラス名(年齢)	もも組(4歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

見て、触れて、感じる

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

雪が積もった翌日子ども達は喜びながら登園してきた。遊んだ時の経験として雪の冷たさなどの話をしていたため

2、活動スケジュール

雪遊び

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

ままごと・スコップ

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

雪遊びを通して、雪の冷たさや新たな発見など様々なことに興味を持ち、遊びを広げようとする

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・雪遊びをしているときに屋根から水が落ちてくることに気が付き、ままごとのカップで水滴を一滴ずつ集めようとする子がいる。「水がたくさんになった！」と喜ぶ姿があった。 ・周りにいた子も一緒になって集め始める。 ・１０まで数を数えて交代をする ・水滴の取り合いになるが、「こっちからも落ちてきてるよ」と気が付いた子が教えて上を見上げて探し始める。 ・チューリップの芽に雪がのっているのを心配する子がいる。 ・優しく雪を取り、芽が見え始めると「あーよかった」と安心していた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

自然事象である雪は子ども達にとって非日常でとても楽しい存在であるなか、気付きも多くあると気付かされた。雪だけではなく、雪解け水を使ってままごとを広げたり、屋根の上の雪が溶けて落ちてきそうなのに気付いたりなどして様々なことに興味を持つ姿が見られた。自分達の育てているチューリップの芽が雪で見えなくなるとすぐに助けてあげようと子ども達から声があり、愛着がわいているのだと感じた。